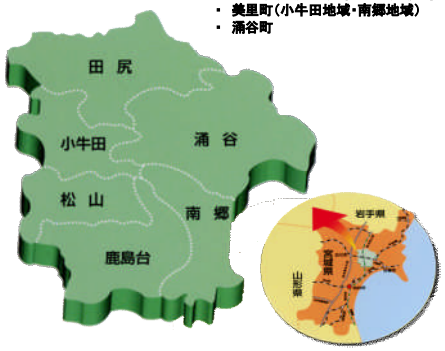
# 田尻田んぼの生きもの調査
# プロジェクト活動報告

田尻田んぼの生きもの調査プロジェクト

## JAみどりの地域の概要

平成8年に広域JAとして誕生しました。

- 大崎市（田尻地域・松山地域・鹿島台地域）
- 美里町（小牛田地域・南郷地域）
- 涌谷町




主要道路とアクセスについて
- 仙台市より約40kmの位置
- 国道346号仙台～気仙沼間と国道108号石巻～横手間が交差。
- 東北自動車道と連結。
- 鉄道は東北本線・石巻線・気仙沼線の拠点である小牛田駅がある。
- トラック輸送が主流で、仙台市まで60分で到着する



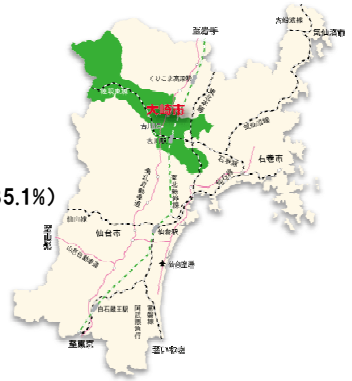

- 年平均気温 11.7℃
- 年平均降雨量 1,129㎜
- 最大積雪量 32cm
- 初霜10月下旬、晩霜4月下旬



## 大崎市田尻地域の概要

大崎市は平成18年3月一市六町が合併
JAみどりの：大崎市・美里町・涌谷町

（平成22年度）
田尻地域水田面積：3,115ha
主食用作付面積：2,090ha
（生産目標数量　11,056 ㌧）
生産調整面積：1,092ha（転作率35.1%）
○大　　豆：243ha
○小　　麦：　80ha
○飼料作物：337ha
○飼料用米：118ha
○ブルーベリー：5ha






## 水稲の生産概要

会員数　200名（平成22年）田尻生産面積

| 平成22年産米 | 作付面積 |
|---|---|
| 環境保全米 | 480.0ha |
| 農薬・化学肥料50% | 334.7ha |
| 農薬・化学肥料70% | 140.0ha |
| 農薬・化学肥料不使用 | 25.8ha |
| JAS有機 | 12.1ha |

- 地域の環境と食の安全安心
- 栽培地域と生産者が特定～集落的な取組みを目標～
- みやぎの環境にやさしい農産物表示認証を取得

## 交流事業の展開

- 一年を通した交流活動を目的

（田尻の生産者を応援してくれる消費者）
農家ホームステイ体験　旬な野菜作り体験
わが家の味噌作り体験、ふるさとコープの旅、
ミニ田んぼ、バケツ稲の講習会

## みやぎ生協　田植え・旬野菜作り交流会

## 東都生協　ホームステイ交流会

東都生協　ホームステイ交流会（田尻）

東都生協　組合員・販促交流会（東京）

## なぜ、生きもの調査が必要か？

①水田の区画整備事業、生産調整（畑地化等で水路・田んぼの生きものに大きな変化がでた。

②使用されている農薬等の確認が生産者・消費者で共有できる。
↓
第三者認証ではできなかった、数字上の管理がすべて

③生きもの調査を基本とした二者認証の可能性

11

## 集落を拠点にした生きもの調査・観察会

10

## 田尻田んぼの生きもの調査プロジェクト

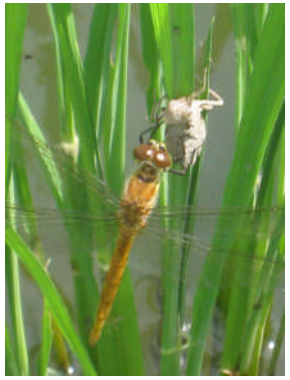
- 環境への配慮度を生きもの調査によって実証し、消費者・生産者にわかりやすい形で伝えることを目的

- 参加団体
  全農、東都生協、みやぎ生協、全農パールライス東日本、パールライスみやぎ、田尻産直委員会、田尻産直米部会、稲作生産部会田尻支部、田尻営農センター、大崎市、NPO法人「田んぼ」、NPO法人「蕪栗ぬまっこくらぶ」
  平成21年4月23日に設立。
  （宮城大学からの指導を頂いています）

## 田んぼの生きもの調査目的

1．調査圃場は区画整備後の水田を対象
（米作りを始めて1～2年）
↓
決して生きものが多い圃場ではない
↓
生きものを育む調査が目的

2．田尻地域全体の調査
↓
トンボの羽化殻調査（58ヶ所）
↓
トンボの「復活作戦」を展開





## 赤とんぼの羽化殻調査

- 調査水田数：58戸
- 赤トンボ発生確認水田数：12筆
  赤トンボ総羽化数：79個
- 種数：3種（アキアカネ・ナツアカネ・ノシメトンボ）
- 水口付近の水のたまりやすい場所を選び、稲株40株について羽化殻を採取

調査方法・調査まとめ　宮城大学
准教授　神宮字　寛　氏



## 生きもの調査プロジェクト活動内容（H21）

- H21.04.23　生きもの調査プロジェクト設立総会
- H21.05.21　生きもの調査プロジェクト打合せ
- 田んぼの生きもの調査　圃場整備済、農薬化学肥料節減栽培　2箇所
  1回目　H21.06.08（月）、09（火）
  2回目　H21.06.29（月）
  3回目　H21.07.07（火）　赤とんぼの羽化殻確認
  4回目　H21.08.18（火）
  5回目　H21.09.08（火）　中間とりまとめ
- 赤とんぼ羽化殻調査
  H21.06.20（土）　調査説明会
  H21.06.21（日）～07.24（金）　調査依頼63件
- 中干しの際の生きもの調査
  水尻にトラップ設置　依頼件数9件
- H21.09.15～09.20　田面のすくい取り調査（田尻産直米部会会員）
- 土壌分析　田尻地域内30箇所

## 生きもの調査プロジェクト

- カエル調査・・・畦畔
- 鳥の調査（水田上空）
- 水田内のラインセンサス調査
- 土の中の生きもの調査
  （イトミミズ、ユスリカ）
- 水田周辺の草花調査
- 水路調査・・・魚類
- 水質調査

## 生きもの調査プロジェクト

- 田面のすくい取り調査
- 水田周辺の草花調査
- 水路調査・・・魚類

17

## たじり田んぼの生きもの宣言

- 安全・安心な田んぼを目指します
- 健全な土づくりを行います
- 環境に配慮した栽培技術の向上に努めます
- 地域の多様な生きものを育みます
- 複合生態系としての「里地・里山」の多様性を維持します
- 田んぼと周辺の環境配慮に努めます
- 地球温暖化防止に貢献します
- 地域の文化を守ります
- 人と人のつながりを大切にします
- 産直活動を広げます

## 調　査　結　果

㎡当りの個体数

◎動物
　全107種
◎植物
　全104種

外来種17.3%

| 種類 | 通木地区 | 中目地区 |
|---|---|---|
| ミジンコ | 多数 | 多数 |
| タマカイエビ | 14 | 12 |
| カイエビ | 30 | 6 |
| ユスリカ幼虫 | 10 | 50 |
| チビゲンゴロウ | 2 | 1 |
| コガシラミズムシ | 4 | 1 |
| ナツアカネのヤゴ | 2 | 1 |
| コモリグモ | 2 | 1 |

NPO法人「田んぼ」
岩渕氏まとめ

18

## たじり田んぼの生きもの宣言

基本理念マーク
たじり田んぼの生きもの宣言

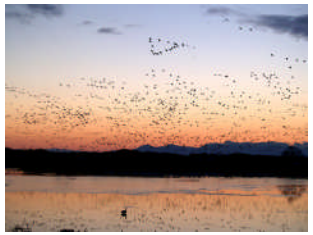
米袋用
田んぼの生きもの宣言マーク

20

## 生きもの調査が形に

## これからの課題と目標

- 米穀の差別化の手段としての生きもの調査
- 生きもの調査は消費者とのコミュニケーションの1つ
- 生きもの認証マークは、単なるシールではなく、そこから読み取れる取組みや産地の情報が重要



23

## 農林水産省主催　田園自然再生コンクール　入賞

平成22年度

22

## 生きもの調査プロジェクトメンバー

END